

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部

## 短期留学募集要項（案）

－ DDブリッジ留学・ラボインターンシップ－

海外の研究室で学ぼう！

≪ 申込期間 ≫

**2026/5/14（木）15:00 ～ 2026/5/20（水）17:00**



**留学プログラム説明会開催！ <参加予約不要>**

- 日時：5月14日(木)・18日(月)  
いずれも12:15～12:50、同じ内容です
- 場所：第4学舎4号館 4002教室
- 対象：システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部  
現3年次生、現4年次生

関西大学

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部

## I. DDブリッジ留学・ラボインターンシップ

### 【趣旨】

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部では、海外学生と共に学び、研究を共同で進めることで、国際的な経験を積み、英語やグローバルな思考力を自然に身につける機会を提供しています。この機会として、3年次および4年次の学生を対象に、夏季休暇を利用して約1ヶ月間の短期留学プログラムの募集を行います。本プログラムでは、本学の大学院（修士）のダブル・ディグリー（DD）協定校であるギーセン大学（JLU、ドイツ）の研究室に滞在し、海外の研究室での基礎実験、ゼミへの参加、学生交流など様々な活動を通じて、国際的な感性を養い、多角的な視点を身につけることができます。

学問・研究の普遍性を実感するための理工系3学部独自の留学プログラムとして位置づけられています。またこのプログラムは、大学院DDに進学を希望する学部学生が、DD協定大学での研究活動を体験できる貴重な機会です。大学院DDでは、自身の専門知識をさらに深めるとともに、世界規模での研究の重要性を理解することができます。

興味深く、魅力的なこのDDブリッジ留学プログラムに参加することで、自らのキャリアにおいて不可欠なスキルを磨き、国際社会での活躍に向けて大きな一歩を踏み出しましょう。

## II. 2026年度 DDブリッジ留学・ラボインターンシップ 概要

留学先の国名・地域名	ドイツ
留学先の大学名	ギーセン大学（数学・コンピュータサイエンス学部、物理学部、地理学部、および生物学・化学 各学部）
留学期間	2026年8月上旬～9月下旬（予定） * 受入大学の状況により、期間を変更する場合があります
募集人員	1～4名
留学形態	渡航先大学の研究室に滞在し、基礎実験や研究室ゼミへの参加、研究施設見学などを含む研究室での活動が中心です。本留学プログラムは、単位認定の対象になりません。
滞在に関わる必要経費（予定）	約42～80万円（1ヶ月）（今後の世界情勢に依存） ※ 必要経費とは、渡航費、宿泊費、保険費（食事や雑費は含みません） <b>【6】必要経費を参照</b>
サポート体制	留学期間中は、関西大学とジェイアイ傷害火災保険株式会社、株式会社JTB及び日本アイラック株式会社との契約の下、留学者の活動をサポートします

### 【1】申込資格：

- ① システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部 3年次及び4年次生（2026年度）
- ② 留学期間中に在学していること（休学していると留学できません）
- ③ 確認書（別紙）の記載する事項を遵守できること（確認書は留学候補者決定後に提出）
- ④ 英語によるコミュニケーションがとれること（目安：TOEIC 550点以上の英語力）
- ⑤ 4年次生の参加については、研究室指導教員の事前許可が必要です
- ⑥ 事前授業（ガイダンス、事前課題）、及び事後授業（報告会でのプレゼンテーション、報告書の提出）のすべてに参加できること

【2】申込時期：2026年5月14日（木）15:00～2026年5月20日（水）17:00【厳守】

### 【3】申込方法：

留学希望者は、

Web 申込【理工系共通参加申込フォーム】<https://forms.office.com/r/M4ug4aeKY2>

へ必要事項を入力して送信すること



**【4】決定方法：書類選考（一次）と面接（二次、英語による口頭試問を含む）を行い、留学候補者を決定します。**

\* 志望動機、語学力、学業成績をもとに総合的に判断します。

**留学候補者の決定：**

- \* 面接は2026年5月21日（木）、22日（金）、25日（月）、26日（火）のいずれかに行う予定です（要相談）。
- \* 個人宛てのメールにて連絡します。
- \* 留学候補者決定後の辞退及び変更は、原則として認めません。
- \* 留学候補者に決定しても、渡航先大学で受け入れが承認されない場合（受入先研究室が決まらない場合も含む）、留学できないこと、ご承知おきください。

**留学候補者決定後の出願手続：**

留学候補者は、下記1～5の書類を提出してください。

下記の様式1,2は、は担当教員（野田 m\_noda@kansai-u.ac.jp）にメールを出して受け取ってください。下記3～5の書類は、各自で準備してください。不備書類は一切受け付けません。

1. 確認書

2. APPLICATION FORM

（留学の志望動機、自己紹介、興味のある研究分野、特技、英語スキル等を記載。様式有り）

\* 留学先研究室の受け入れを決定するため渡航先大学に提出しますので、**全て英語で記載**してください。

3. 語学レベルを証明する資料（TOEIC, TOEFL, IELTSの得点票など）

\* 出願手続時から起算し、1年以内に受験のもの、語学レベルを証明する資料は、渡航先に提出します。

4. 成績証明書（英文）（教職支援センターにて発行可能）

5. パスポートのコピー

**【5】候補者決定後の留学のための書類提出の期限と場所：**

期限：2026年6月1日（月）

場所：関西大学 理工系オフィス〔第4学舎1号館1階〕

**【6】必要経費：**

○短期留学に伴う必要経費：約42～80万円（約1ヶ月）（予定：現在世界情勢により予想幅大）

\* 必要経費とは渡航費、宿泊費、保険費です（食事や雑費は含みません）

渡航費：往復35～45万円（@2026年3月末現 DD 留学生実績）

宿泊費：7～9万円/月（学生寮）、～35万円/月（ホテル）1EU=187円（@2026年5月初旬）

その他の経費（食事や雑費）など必要な経費は、各自で負担してください。

○海外旅行保険、危機管理サービス(関大 TRS) 及びアイラック安心サポートデスクは、大学で一括加入します。

ただし、所定の条件を満たした参加者に対して奨学金の給付を予定しております。詳細は理工系オフィスにてご確認ください。

（過年度実績）

・国際交流助成基金短期派遣奨学金（2万円※アジア圏実績。実際のプログラム費用によって変動します。）

・日本国籍所持、一定の英語運用能力、高いGPA値(直近の1年間及び通算)以上等の要件を満たした方に限り、JASSO海外留学支援制度(協定派遣)による奨学給付金(月額8万円)申請可能。

・航空券代等プログラム費の一部は関西大学教育改革推進特別予算事業の支援を受けました。

**【7】単位認定（化学生命工学部化学・物質工学科の学生にのみ適用）：**

本プログラムに参加した上で、事前・事後授業への参加、報告書等を総合して評価し、化学生命工学部において認められた場

合、卒業所要単位の内、化学・物質工学科専門教育科目選択科目「海外ラボインターンシップ（多文化共修）」（2 単位）として認定されます（※1）。単位の認定については、最終授業日から数ヶ月後に発表されます。なお、この2 単位は、当該年度の履修制限単位には含まれません。詳細は、申込前に教務センターにてご確認ください（※2）。

（※1）「海外ラボインターンシップ（多文化共修）」は 2026 年度入学生から適用されるカリキュラムに新設される科目ですが、2025 年度以前入学生についても、同科目を修得したものと単位を認定します。

（※2）2・3 月実施プログラムに参加する場合、3 月期卒業見込み者については単位を認定しません。また、単位認定時期が次年度 4 月以降となるため、次年度の特別研究の履修にあたっては、当該科目以外で修得した単位数等をもとに履修可否を決定します。

#### 【7】参加費納入：

\* 必要経費の納入先は別途お知らせします。

#### 【8】渡航における留意事項：

本人及び保証人が確認書の内容を理解し、渡航によって生じるすべての責任を学生本人及び保証人が負うことについて誓約できることを派遣の条件とします。

#### 【9】キャンセルについて

留学決定後のキャンセルや変更は原則として不可とします。キャンセルにより発生した費用は、自己負担となります。十分に検討して申込みを行ってください。

#### 【10】事前・事後授業、及び課題：

##### ① 事前授業：2026 年 6 月-7 月（別途連絡）

- ・留学候補者は、事前授業への出席が必須となります。
- ・国際部・危機管理セミナー出席（各種レディネスセミナーに参加すること）

##### ② 留学中：週報の作成（研究進捗状況、活動報告など）

##### ③ 事後授業〔報告会〕：

帰国後、留学者の報告会を開催しますので必ず出席して、留学の成果を報告してください。

##### ④ 報告書の提出 提出時期：帰国後、2 週間以内。

##### ⑤ 留学後の効果検証のため、帰国後に TOEIC 受験を予定しています。

#### 【本留学参加申込前の事前相談】

留学の内容に関する事前相談は、特任教授 野田実（主に化学系） 特任教授 中村健悟（主に物理系）が受け付けます。

相談したい場合は、電子メールで連絡をとり、事前相談の予約してください。

連絡先：m\_noda@kansai-u.ac.jp（野田） kengo@kansai-u.ac.jp（中村）

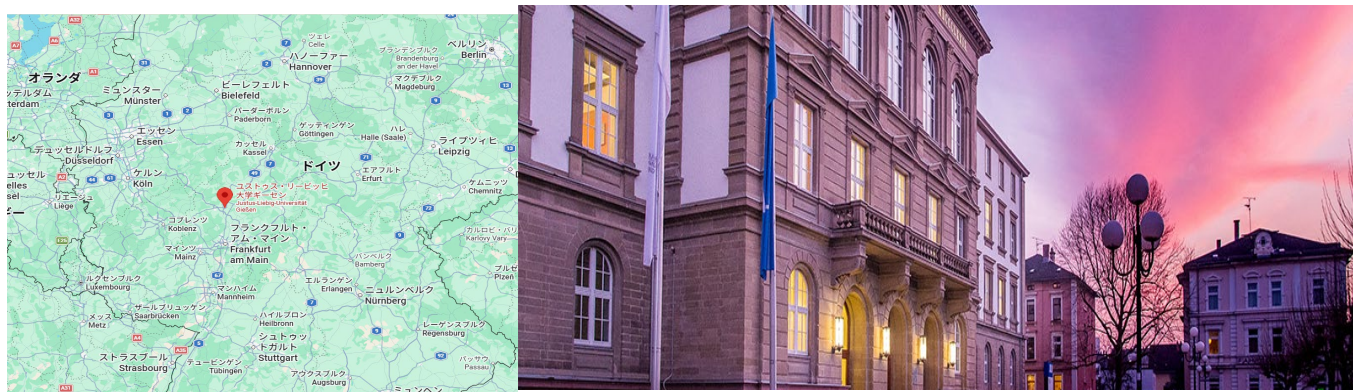
なお、事務的な相談は理工系オフィス（第4 学舎 1 号館 1 階）にて受け付けます。

# ギーセン大学（ユストゥス・リービヒ大学ギーセン校 : Justus Liebig University, Giessen) の概要

Faculty of Mathematics and Computer Science, Physics, Geography and its Faculty of Biology and Chemistry, Germany

【所在地】 Ludwigstraße 23, 35390 Gießen, Germany

【学生数】 学生数:約 2 万 5 千人, 教員・研究者数:約 4 千 5 百人



**【特徴】** 1607年に設立されたユストゥス・リービヒ大学ギーセン（JLU）は、ラーン川沿いの活気あふれる街に、多様なコースを擁し、約 2 万 5000 人の学生を惹きつけています。同大学は、特に生命科学分野における独自の幅広い分野（人間医学、獣医学、農学、環境科学、栄養学、食品科学）において、研究者に学際的な連携のための理想的な環境を提供しています。これにより、JLU は健康、環境、栄養学の交差点における世界的な課題に取り組む「ワンヘルス」研究の主要拠点となっています。知覚、心臓・肺研究、バッテリー技術の 3 つのエクセレンス・クラスターは、JLU をドイツ・エクセレンス戦略における最も成功した大学の一つにしています。さらに、同大学は積極的に社会貢献活動を行っており、学生の約 3 分の 1 が国家試験に合格しています。こうして JLU は、将来の教師、裁判官、医師、獣医師を育成しています。

## 学部・研究科

## 学科

Mathematics and Computer Science 数学とコンピュータ科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Mathematics</li> <li>• Computer Science</li> </ul>
Physics 物理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Physics</li> </ul>
Geography 地理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Geography</li> </ul>
Biology and Chemistry 生物学と化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Biology</li> <li>•Chemistry</li> </ul>

学部・学科紹介 <https://www.uni-giessen.de/en/faculties>



JLU 紹介動画 <https://youtu.be/3t8QVZ6Q5C4>



# 確 認 書

関西大学

学部長 殿

私は、システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 主催の「DDブリッジ留学・ラボインターンシップ」プログラム（以下、プログラムと呼ぶ）に参加するにあたり、次の事項を確認しました。

1. プログラムの趣旨を十分理解すること。現地でのプログラム参加に加えて、事前授業および事後授業に参加し、帰国後に「報告書」を提出すること。
2. 決められた期日までに必要書類を提出しない、または必要な手続きを行わない、参加費の支払いを怠る、事前授業、及び事後授業の欠席など、素行上の不良が確認された場合は面談が行われ警告が与えられる。この警告後も改善が見られない場合は、プログラムへの参加が認められないことを了承すること。
3. 留学期間中は滞在国の法令、社会的マナーや文化、風習を守ること。また、留学先大学の定める規則や担当者等の指示に従い、かつ日本の法令や本学の学則に反することがないように、関西大学（以下、本学という）学生としての自覚と責任のもとに行動すること。
4. 出発及び帰国の日程ならびに旅程については、プログラムの指定に従うこと。また、留学期間中は、あらかじめ本学が指定した滞在先（大学、寮など）に滞在すること。
5. 本学の留学プログラムを通じて留学する学生の安全対策として、外務省海外安全ホームページにて発表される「危険情報」・「感染症危険情報」の4つのカテゴリーおよび本学の催行判断基準に基づき対策を講じる。渡航先の治安状況等予期しない事態によって、留学プログラムが急遽中止または即時帰国となった場合、本学の指示に速やかに従うこと。
6. 留学期間中は、体調管理を含め自らの故意または過失により生じさせた損害や事故については、各自がその責任を負うこと。食事アレルギーがある場合は、その内容を事前に知らせておくこと。
7. プログラム参加に際して本学指定の海外旅行保険、および危機管理サービスに加入すること。
8. 留学期間中に、疾病・事故やそれに伴う延泊があった場合、保険ではカバーできず追加費用（例えば、家族の現地への渡航費、延泊費用等）が発生する場合もあることについて事前に家族の了解を得ておくこと。
9. 緊急時における安否確認対応のため、関西大学が加入する日本アイラック安心サポートデスクの「緊急時安否確認システム（プロ・ファインダー）」へ学生本人の渡航に関する個人情報を提供されることに同意すること。また有事の際には、同システムまたは関西大学からの安否確認連絡に速やかに対応すること。
10. 留学期間中は、車両（自動二輪車を含む）の運転を行わないこと。
11. 日本の大麻取締法は、国外において大麻をみだりに、栽培したり、所持したり、譲り受けたり、譲り渡したりした場合などに罰する規定があるため、留学先国・地域の法令にかかわらず、日本の法令に従い大麻やその他ドラッグの使用をしないこと。使用が発覚した場合、留学が取り消され、即時帰国、懲戒の対象となる。
12. 本学からの緊急連絡等のため、必ず連絡先を本学に届け出ることとし、連絡先が変更になった場合も、速やかにその旨を届け出ること。
13. 留学は、学生本人が留学前手続や留学中のさまざまな対応を、自主的かつ責任を持って行うことが要求されることを理解しておくこと。

以 上

年 月 日

学籍番号

学生署名

印

保証人は、上記事項を確認し、これを学生本人が遵守することを保証します。

保証人署名

印

(学生との関係： )

【連絡先】

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

関西大学 理工系オフィス〔第4学舎1号館1階〕

電話 06-6368-1121 (代表)

<渡航先大学のホームページ>

ギーゼン大学

<https://www.uni-giessen.de/de>

